



「前線基地として」 ～避難所開設訓練を行いました～

本校は、令和3年度に由利本荘市と協定を結び、由利本荘市の指定福祉避難所となっています。

近年は、想定を超える自然等の大災害が各地で発生することが多くなりました。今だ復興途中の被災地も数多くあります。一日も早い復興を心から祈念したいと思います。

災害はいつ起こるか分かりません。このため、いつでも福祉避難所としての機能を果たせるように準備しておく必要があり、冬季休業中の1月9日には福祉避難所の開設訓練を行いました。

訓練は、由利本荘市の職員の方々と連携し、①体育館での避難所スペースの設営 ②避難者の受け入れ を大きな柱として行いました。

訓練には高等部3年生も参加し、テント設営や段ボールベッドの組み立てなどを行いました。高等部3年生は、1年生の時から防災学習に熱心に取り組んできた学年です。この他、地域の施設職員や町内会の方々にも参加いただきました。

訓練の流れとして、大きな地震が発生し、由利本荘市から避難所開設の依頼を受けた想定でスタートしました。その後校内施設点検を行い、開設可能の旨を由利本荘市へ回答し、受付場所設置・開始（避難者名簿作成を含む）、疾病・発熱者等の待機場所設置・誘導、体育館の避難スペース設営などを行いました。各箇所の設置等、開設に係る物理的な準備は比較的スムーズにできましたが、誘導や名簿作成などの受け入れ開始後の動きがマニュアルどおりにはいかず、継続した訓練の必要性を感じました。

訓練中、体育館に設営された避難スペースや、避難者（役）を誘導する様子などを目にしながら、有事において「学校は命を守るための前線基地」の一つであることを強く実感し、身の引き締まる思いに駆られました。

引き続きの由利本荘市との連携の基、確かな防災体制を整えていきたいと思っています。

なお、本校では2学期からシェイクアウト訓練を月に1回のペースで行っています。「自分の身を自分で守る」防災教育の充実も図っていきます。

